

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立吉田特別支援学校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	178人				

1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部1～6年 62人
使用頻度	毎日
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年生の生活単元学習、自立活動の時間に行う身体全体を使った粗大運動の遊びで活用している。 ・1～6年生の学級活動、休み時間に活用している。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・色鮮やかな複合遊具は非常に魅力的で、グラウンドに出ると遊具に向かって一直線に走り出す様子が見られている。これまでは遊具が少なく、外へ出て遊ぶ機会が多くなかったが、気候が良い時期には遊具で遊ぶことが増えた。 ・何度も繰り返し階段やネット等を上り、滑り台や滑り棒で降りる遊びを楽しみながら、体力がついてきている。 ・ネット、滑り棒は日常生活の中であまりない動きのため、新たな動きの獲得につながっている。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、自然に全身を動かすことができる状況が整ったため、授業や休み時間での活用を継続して、基本的な動きを身に付けたり、体力の向上を図ったりしていきたい。 ・みんなで楽しく遊べる場所として、6年生が1年生に遊具の紹介をするなど、愛着を持てる場所にしていきたい。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが目を輝かせて遊び、それぞれに気に入った場所を見付け、繰り返し遊ぶ姿が見られている。同じ場で様々な遊びができる複合遊具の良さを実感している。

2. 活用の様子



足元をよく見て、バランスを取って登る力が付いてきています。



滑り棒は初めての挑戦だったようです。腕で体を支えることから頑張っています。



滑り台が大好きな児童。
何度も繰り返し遊んでいます。



滑り台は人気なので、順番を待つ経験も
できます。名前を呼ばれたらスタートします。



望遠鏡も大人気です。少し高い所から、
グラウンドを見渡しています。